



### ■ 今月のコロナは

まずは総会についてのお知らせです。  
2月14日(月)開催予定の総会は実施せず、  
書面審議の形式に変更します。

今後、正式にご案内いたします。

2022.01.31 開催 シニアクラブ幹事会にて決定

今年2月1日が旧暦1月1日となり中国や台湾、そして日本国内でも沖縄など旧正月を祝う地域があります。盛大なお祭りとなる春節の祝いも、コロナで人の動きは大きく制約されています。とりわけ中国では冬季オリンピック開催を間近に控えて厳戒態勢のことでしょう。

昨年秋以来、コロナが落ち着きをみせてシニアクラブの活動もようやくまた活発に展開できると期待していました。

しかし、新株“オミクロン”で連日8万人を超えるような感染爆発をおこすとは考えてもいなかったことです。12月の小紙に掲げた“来るな！第6波”の願いもむなしく第5波を一気に超える勢いで国内に蔓延してしまいました。

巻頭の写真は中山法華経寺の支院「遠壽院」表堂で祈禱所となっています。この後ろに控える荒行堂からは昨年11月から100日間の荒行に励む僧たちの声が聞こえてきます。

朝3時から夜11時まで日に何回となく水行を繰り返し読経三昧の毎日で、隔離された世界にはコロナが入り込む余地はないのでしょうか。

2月10日には成満を迎えることとなります。コロナもそろそろ終焉を迎えてほしいものです。

### ■ 活動報告「zoom会合報告」

1月25日(火)に定例の会合を開催しました。

新年からスタートしたNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で鎌倉の話から始まり、番組制作への意見やテレビ機器の問題など、かつて自分達がかかわった仕事に関連してか、話が盛り上がりました。



<http://jvc-senior.com/20220125zoom.pdf> 参照



鎌倉鶴岡八幡宮 1月14日写真(神奈川) 浅井信義さん  
3月1日から大河ドラマ館開館の案内もありました。

<https://taiga-kamakura.jp/> 参照

## ■ 和田殿と三浦 (神奈川) 秦 孝弘さん

鎌倉殿の13人の一人、「和田義盛」ゆかりの史跡が残る三浦市在住の秦孝浩さんから俳句が寄せられました。

三浦市は三浦氏一族ゆかりの地で、その末裔たちが今でも市内に地名が存在する場所に館を構えていたようです。当時の豪族達の名字が地名と重なるのは自分の領地を示すパスポートのようなものだったとのことです。(NHK番組「日本人のお名前」から)

今回投稿された句から一つ紹介します。

揚雲雀やすらふところ和田城址



ヒバリ目線で上空から眺めて見ました。周辺は畑や雑木林に囲まれたのどかな地域の様子が窺えます。中心の青のポイントに和田城址を記した碑と市の案内板がある。この地は三浦市初声町和田。コロナ終焉の暁には皆で散策しましょう。

ほかにも秦さんから投稿された句があるので、シニアクラブHPをご覧ください。

<http://jvc-senior.com/20220130hata2.pdf>

## ■ 2月3日 節分 (栃木) 宮田 宏美さん

我家では昔から節分には豆まきをしています。魔除けの終鰯(ひいらぎいわし)を神棚、そして玄関や勝手口などに挿し、神棚に供えた福柁の豆をまき始めます。子供のころは、玄関や窓を開け放って、隣近所に負けずに大きな声で「鬼は外、福は内」とやったものですが、今は無言の豆まきになってしまいました。

福柁は、昔は験を担いで一升柁でしたが、一合柁になりました。

組合結成50周年記念式典の鏡割りでいただいた思い出の一合柁を使っています。



そして春分、こうした季節の行事は代々受け継いで行きたいですね。

## ■ トピックス「トンガ火山の大爆発」

1月15日のトンガ国における火山爆発で、日本国内ではその日、夜半から翌日昼頃まで津波警報が伝えられていました。幸いにして国内での潮位の上昇はさほどではなかったものの小型漁船が流されたり転覆したりと被害の報告がありました。気象庁は後に津波とは違う潮位の上昇と説明していました。

トンガでは高さ15mもの津波が起り大きな被害を受けたようです。降灰の被害も被り世界から救援の手が差し伸べられています。

今回の爆発がどれだけ大きなものであったか、以下のサイトにそれが載っています。

<https://graphics.reuters.com/TONGA-VOLCANO/lpdpwjyqbo/>

面白半分で見るとは思いますが、イギリスやスペイン、朝鮮半島など、世界各地の地図に当てはめてその規模がいかに巨大なものであったかを示しています。(爆発1時間後の雲の大きさを示す)



写真の島(フンガトンガ島2016年、引用 GoogleEarth)は、ほぼ全域が吹き飛んでしまい、一部を残して海面から消えてしまいました。

もし富士山が爆発したら…と、思うと他人ごとではありません。

## ■ 事務局から

今月も会員からの投稿をいただきシニアクラブ便りの編集ができました。先月号に書いた通り、シニアクラブ便りは会員間のコミュニケーションをはかるツールです。これからも会員各位からのお便り・写真などお寄せください。HPへの投稿もヨロシク。

(茨城) 室田正雄さん提供「庭に咲いた寒椿」



寒さに負けず咲く寒椿の花言葉は、「申し分のない愛らしさ」、「謙譲」、「愛嬌」。

陽が徐々に伸びてきました。春は間近、コロナにめげず、寒さに耐え元気に過ごしましょう。

事務局長 田代 周